

意見書

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」

肝硬変・肝がん患者は、毎日、全国で120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題であるため、新たな具体的措置を講じるよう、国に対し、意見書を提出しました。

「地方公共団体金融機構納付金制度の廃止に関する意見書」

モーターボート競走事業施行者が、今までに地方公共団体金融機構に納付した金額は、約5千百億円、他の公営企業施行者のものを含めた地方公共団体健全化基金積立金額は、約9千億円以上と膨大な金額にのぼり、十分に所期の目的は達せられていると思われるため、地方公共団体金融機構納付金制度を廃止するよう、国に対し、意見書を提出しました。

12月定例会

平成26年度の一般会計補正予算、条例改正など18議案を可決（承認、同意）したほか、請願については3件を採択、3件を不採択としました。



請 願

◇採 択◇

- ・ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願
- ・寿古町に計画されている産業廃棄物中間処理施設の建設反対を求める請願
- ・照明付きテニスコートの新設に関する請願

◆不採択◆

- ・消費税10%への先送りではなく引き下げ中止を求める請願
- ・住宅等リフォーム緊急支援事業の継続を求める請願
- ・年金削減の中止と最低保障年金制度の創設を求める請願

